# 9　消耗部品の交換方法

日々の作業を安定して能率的に行うために、作業前・作業後のメンテナンス・早い時期の消耗部品の交換をお勧めいたします。
以下の「消耗部品の交換方法」をよくお読みいただき、正しく作業を行ってください。

⚠ 警告　消耗部品の交換やメンテナンスを行う時は、必ず電源プラグを手で持ってコンセントから抜き、作業を行ってください。プラグを差し込んだまま作業を行うと感電する危険性があります。

⚠ 警告　取扱説明書に記載されている以外の間違った方法で部品を交換すると機械が正常に働かないばかりか、感電や火傷をする危険性があります。

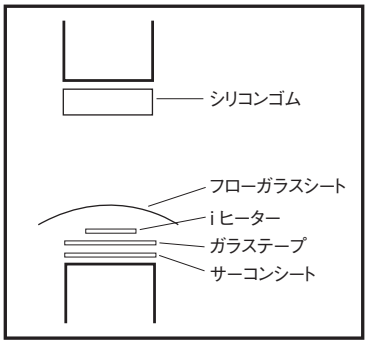
⚠ 警告　消耗部品は必ず弊社指定の部品をご使用ください。指定外の部品を使用されると製品の性能が正しく発揮できないだけでなく、故障の原因にもなります。

必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業を行ってください。

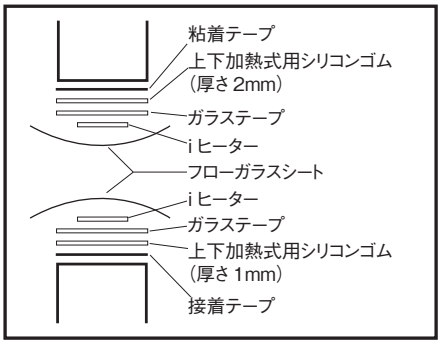
## シール部の構造

シール部は右イラストの部品などから構成されていますので部品の交換の時は順番を間違えないように正しく取り付けてください。

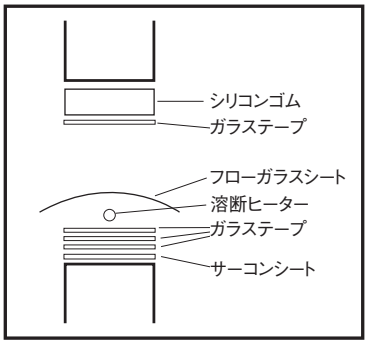
片側加熱式



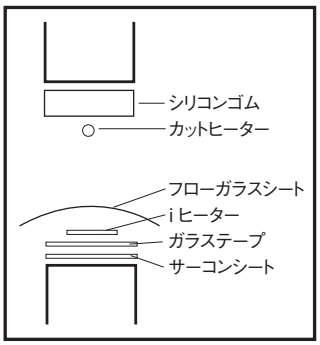

上下加熱式




溶断タイプ




5C,10C タイプ



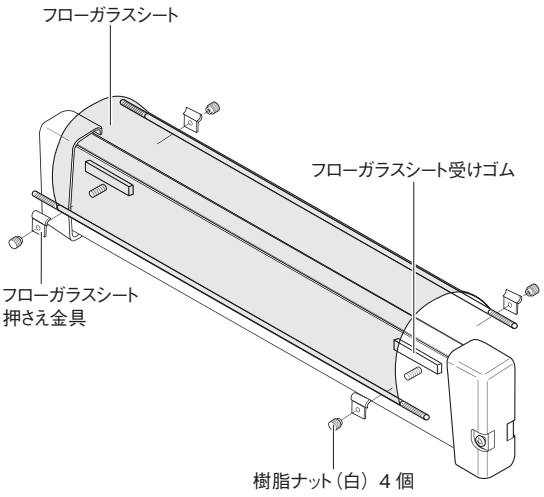

## 消耗部品の販売について

消耗部品は長時間の使用で損傷し、シール状態が悪くなっていきます。傷んだ部品を続けて使用すると故障の原因となりますので予備品を手元に置かれ、適時交換してください。
消耗品の販売につきましては「16 消耗部品一覧」に掲載しておりますので、ご注文の際にご活用ください。
製品名・品名・数量を明確にご指定の上、お買い上げの販売店または弊社までご注文ください。

## 9-1　フローガラスシートのずらし方

【必　要　物】 ハサミ

【交換の目安】 フローガラスシートが変色し、袋がハガレにくくなった。フローガラスシートが破れたり、焦げてシールが汚い。




フローガラスシートが傷みましたらヒーター上部にフローガラスシートの新しい面が来るようにフローガラスシートを前へずらして（引き出して）ください。
フローガラスシートがヒーターにひっついている場合、端からていねいにはがしてください。
フローガラスシートは予備として 25 ～ 30cm フローガラスシート巻取棒に巻いてあります。残り少なくなった場合は、「9-2 フローガラスシートの交換方法」を参照して、フローガラスシートをシートごと交換してください。

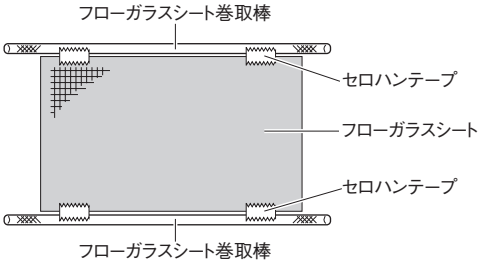
1　フローガラスシート押さえ金具を固定している樹脂ナット（白）を緩めます。
2　フローガラスシート巻取棒をまわし、傷んだフローガラスシートを前後どちらかに15mm 程巻きます。
3　フローガラスシートのたるみがないように、フローガラスシートを巻取り、フローガラスシート押さえ金具を１で緩めた樹脂ナット（白）で固定してください。

## 9-2　フローガラスシートの交換方法

【必　要　物】 ハサミ、セロハンテープ

【交換の目安】 フローガラスシートが変色し、袋がハガレにくくなった。フローガラスシートが破れたり、焦げてシールが汚い。

1　フローガラスシート押さえ金具を固定している樹脂ナット（白）を外します。
2　フローガラスシート巻取棒を取り、古くなったフローガラスシートを外します。
3　フローガラスシート巻取棒に新しいフローガラスシートをセロハンテープなどを使って貼り付けます。
4　フローガラスシート巻取棒を取り付け、１で外した樹脂ナット（白）で仮止めをします。
5　フローガラスシートがヒーター上部でシワにならないようにフローガラスシート巻取棒を回します。
6　４で仮止めした樹脂ナット（白）を回してフローガラスシート押さえ金具を締付けフローガラスシート巻取棒を固定します。



## 9-3　ヒーターの交換方法
## （対象：片側加熱式、上下加熱式）

【必　要　物】　プラスドライバー
六角レンチ 3mm（1500 型のみに使用）

【交換の目安】　ヒーターが切れた、シールが汚い、シール面に凸凹が発生した

### ■ シール長さ 800 、1000 、1200 型のヒーター交換

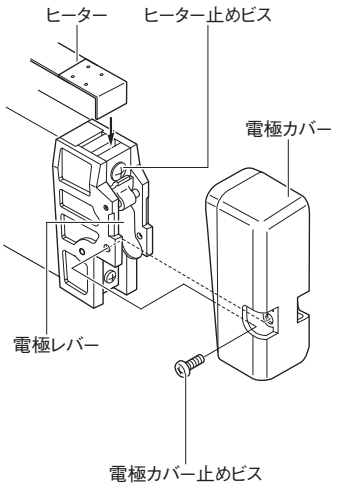
1　ヒーターはフローガラスシートで覆われています。「9-1 フローガラスシートのずらし方」「9-2 フローガラスシートの交換方法」を参照して、フローガラスシートを外してください。

2　プラスドライバーで電極カバー側面の電極カバー止めビスを緩めて取り、電極カバーを外します。

3　電極レバーを上側のヒーターの場合は下方向に、下側のヒーターの場合は上方向に起こし、ヒーター止めビスをプラスドライバーで緩めてください。

4　ヒーター止めビスを緩めると傷んだヒーターが取り外すことができます。

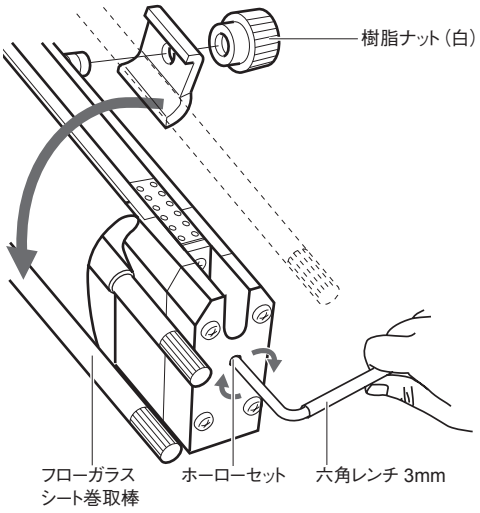
5　電極レバーを上側のヒーターの場合は下方向に、下側のヒーターの場合は上方向に起こしたまま新しいヒーターを電極の溝に挟み、ヒーターが電極から浮かないように押さえながらヒーター止めビスをしっかり締めた後、電極レバーを上側のヒーターの場合は上方向に、下側のヒーターの場合は下方向に戻してください。




⚠ 注意　安全のため、ヒーター交換後は必ず電極カバーを取り付けてください。
交換用ヒーターは必ず弊社指定の専用ヒーターをご使用ください。専用ヒーター以外のヒーターを使用されますと、トランス焼損の原因となります。

### ●シール長さ 1500mm タイプのヒーター交換方法

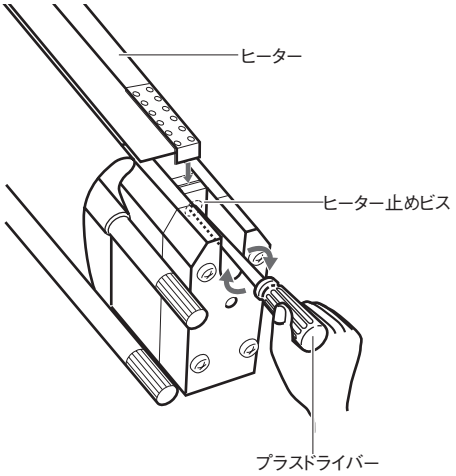
1　ヒーターはフローガラスシートで覆われています。フローガラスシート巻取棒を固定している樹脂ナット（白）を緩めて、ヒーターが見えるようにフローガラスシート巻取棒をシール部の手前に持ってきます。




2　両側にある電極のホーローセットを六角レンチで右側にゆっくりと回して、ヒーターをたるませてください。

3　ヒーター止めビスをプラスドライバーで緩めて、ヒーターを取り外してください。

4　新しいヒーターを電極の溝に挟み、ヒーターが電極から浮かないように押さえながらヒーター止めビスをしっかり締めて、ホーローセットを六角レンチで左側にゆっくり回してヒーターが張った状態に戻してください。フローガラスシート巻取棒を元の位置に戻して樹脂ナット（白）で固定してください。



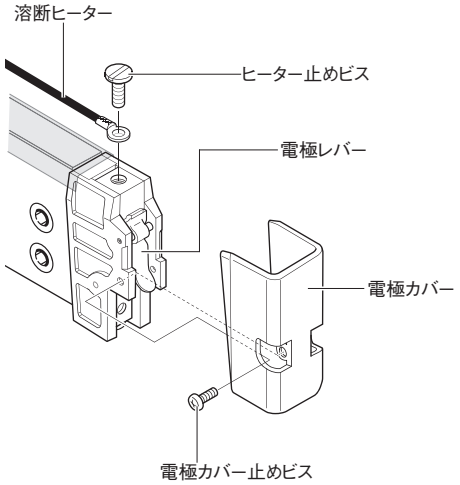

⚠ 注意　交換用ヒーターは必ず弊社指定の専用ヒーターをご使用ください。専用ヒーター以外のヒーターをご使用されますと、トランス焼損の原因となります。

## 9-4　溶断ヒーターの交換方法（対象：溶断タイプ）

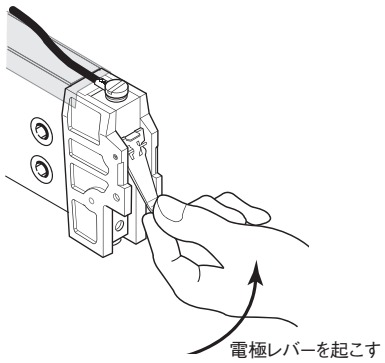
【必　要　物】　プラスドライバー、マイナスドライバー
【交換の目安】　ヒーターが切れた、溶断が汚い

⚠ 警告　シール幅（ヒーターの幅）が異なるヒーターへの交換は絶対にしないでください。

1　ヒーターはフローガラスシートで覆われています。「9-1 フローガラスシートのずらし方」「9-2 フローガラスシートの交換方法」を参照して、フローガラスシートを外してください。
2　プラスドライバーで電極カバー側面の電極カバー止めビスを緩めて取り、電極カバーを外します。




3　電極レバーを起こし、ヒーターの張りを緩めます。
4　ヒーター止めビスをマイナスドライバーで緩めるとヒーターが外せます。
5　取り付けの時は、電極レバーを起こしたままの状態で、電極からヒーターが浮かないようにヒーター端子を指で押さえながらヒーター止めビスで締め付けて固定します。
6　ヒーターを固定したら、電極レバーを元の状態に戻してヒーターを張ります。
7　2で外した電極カバーを取り付けます。



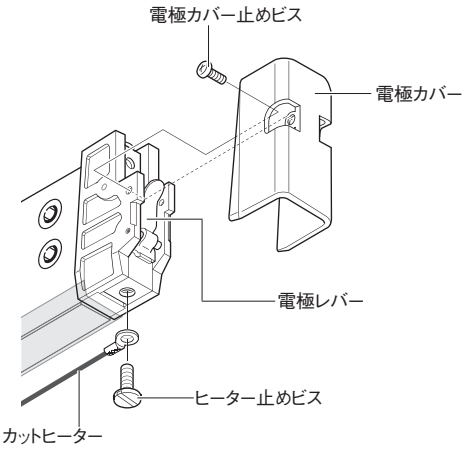

⚠ 注意　安全のため、ヒーター交換後は必ず電極カバーを取り付けてください。
交換用ヒーターは必ず弊社指定の専用ヒーターをご使用ください。専用ヒーター以外のヒーターを使用されますと、トランス焼損の原因となります。

## 9-5　カットヒーターの交換方法（対象：5C,10C タイプ）

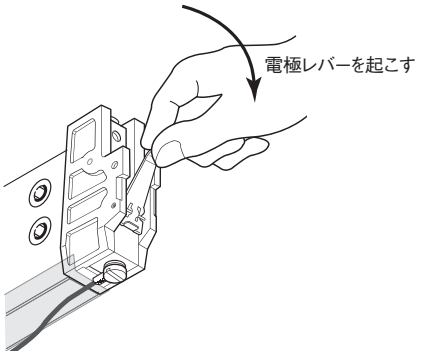
【必　要　物】 プラスドライバー、マイナスドライバー
【交換の目安】　ヒーターが切れた、溶断が汚い

⚠ 警告　**シール幅（ヒーターの幅）が異なるヒーターへの交換は絶対にしないでください。**

1　プラスドライバーで電極カバー側面の電極カバー止めビスを緩めて取り、電極カバーを外します。




2　電極レバーを起こし、ヒーターの張りを緩めます。
3　ヒーター止めビスをマイナスドライバーで緩めるとヒーターが外せます。
4　取り付けの時は、電極レバーを起こしたままの状態で、電極からヒーターが浮かないようにヒーター端子を指で押さえながらヒーター止めビスで締め付けて固定します。
5　ヒーターを固定したら、電極レバーを元の状態に戻してヒーターを張ります。
6　2 で外した電極カバーを取り付けます。




⚠ 注意　**安全のため、ヒーター交換後は必ず電極カバーを取り付けてください。**
**交換用ヒーターは必ず弊社指定の専用ヒーターをご使用ください。専用ヒーター以外のヒーターを使用されますと、トランス焼損の原因となります。**

## 9-6　ガラステープの交換方法

【必　要　物】　ハサミ、プラスドライバー、アルコール（エタノール）

【交換の目安】　ヒーターがよく切れる、シールが汚い

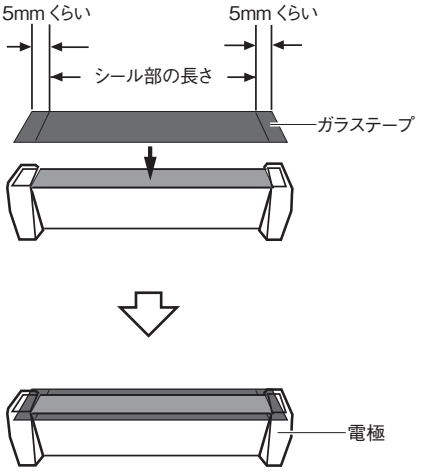
⚠ 注意　ヒーター下部のガラステープが傷んだり焼損するとヒーターの絶縁不良や、シール不良の原因となりますので、ヒーターの交換時には必ず点検し、必要に応じて貼り替えてください。

1　フローガラスシート、ヒーターを取り外してください。

2　ヒーター下部のガラステープをきれいにはがしてください。

⚠ 注意　粘着のりが残っている上に貼り付けると、シール面が凸凹し、シールに悪影響を起こしますので粘着のりをきれいにアルコール（エタノール）で取り除いてください。

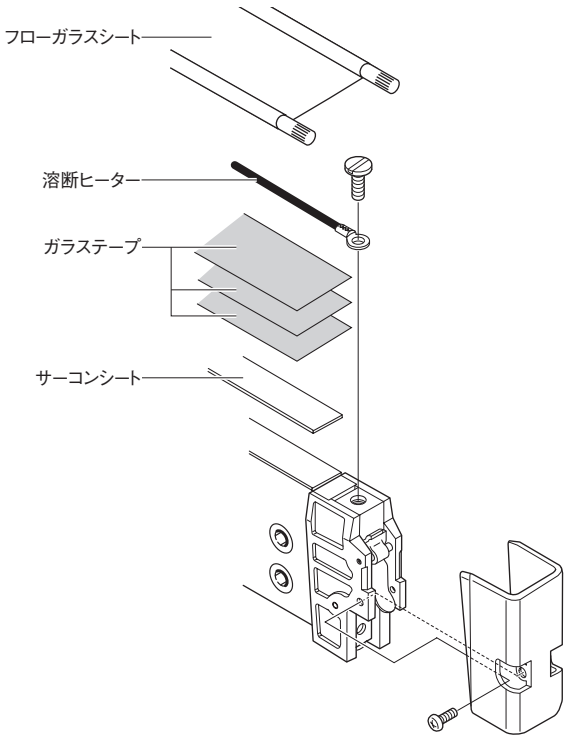
3　ガラステープの両端が電極に 5mm ずつかかるようにカットして、電極の上に重ねるように貼り付けてください。




注！　ガラステープ交換の際に、サーコンシートの貼り付け粘着力が低下していましたらガラステープとともにサーコンシートも交換してください。

MEMO　溶断タイプは右イラストを参照していただき、ガラステープを 3 枚重ねて貼り付けてください。

### 溶断タイプ



## 9-7　サーコンシートの交換方法
## （対象：片側加熱式、5C,10C タイプ）

【必　要　物】　ハサミ、プラスドライバー、アルコール（エタノール）など

【交換の目安】　ヒーターがよく切れる、シールが汚い

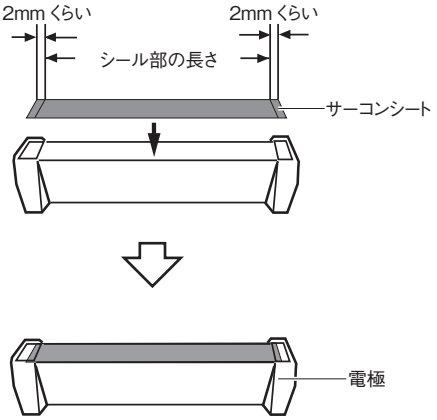
⚠ 注意　ヒーター下部のサーコンシートが傷んだり焼損するとヒーターの絶縁不良や、シール不良の原因となりますので、ヒーターの交換時には必ず点検し、必要に応じて貼り替えてください。

1　フローガラスシート、ヒーター、ガラステープを取り外してください。

2　ヒーター下部のサーコンシートをきれいにはがしてください。

⚠ 注意　粘着のりが残っている上に貼り付けると、シール面が凸凹し、シールに悪影響を起こしますので粘着のりをきれいにアルコール（エタノール）などで取り除いてください。

3　サーコンシートの両端が電極に２mmずつかかるようにカットして、電極の上に重ねるように貼り付けてください。



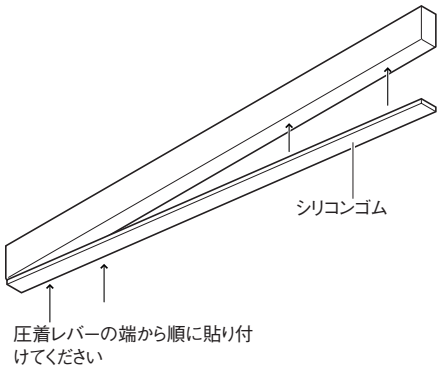
## 9-8　シリコンゴムの交換方法

【必　要　物】　アルコール（エタノール）
【交換の目安】　シリコンゴムの表面が凸凹になっている。

1　フローガラスシート、ヒーター、ガラステープを取り外してください。
2　シリコンゴムをはがし、粘着のりをアルコール（エタノール）できれいに拭き取ってください。

**注！**　粘着のりが残っている状態でシリコンゴムを貼ると、きれいなシールに仕上がりません。

3　新しいシリコンゴムには、粘着テープがついています。剥離紙を外し、端から順に貼ってください。




**注！**　上下加熱式の場合、圧着レバー（2mm）とシール受け板（1mm）でシリコンゴムの厚みが違います。

**注！**　溶断タイプにはシリコンゴムの上に附属品のガラステープを 1 枚貼り付けてください。

## 9-9　チューブの接続・離脱

配管チューブを抜き差しするときは、エルボ継手の開放リングを指先で押しながらチューブを抜いてください。

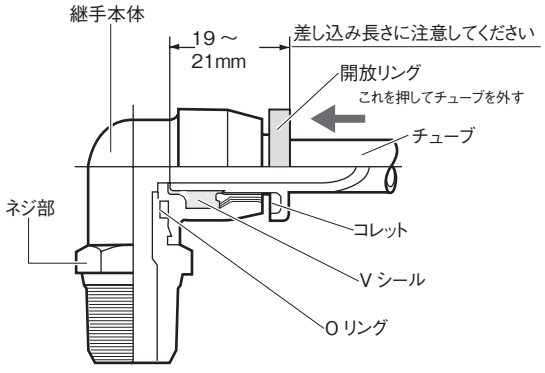
### チューブの離脱

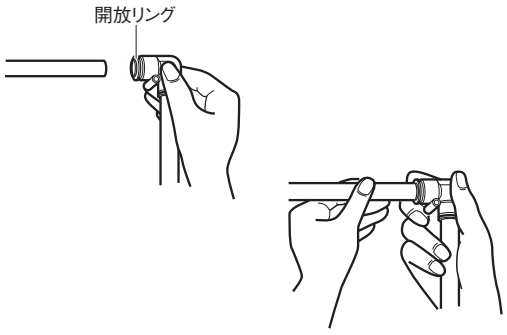
チューブを押し込みながら開放リングを平行に押すと、より容易にチューブを引き抜くことができます。

### チューブの接続

チューブ装着時には、継手のチューブエンドまで完全に差し込んでください。

**⚠ 注意**　チューブの差し込みが少ないとエア漏れを起こしますので確実にチューブを差し込んでください。

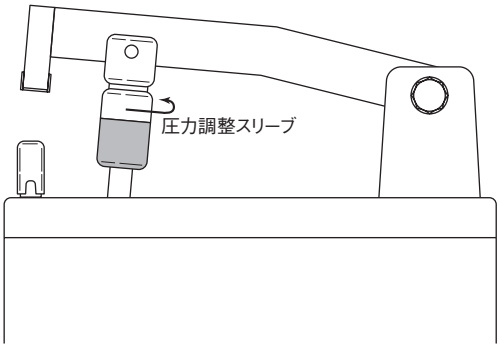


# 10 各部の調整方法

## 10-1　シール圧力の調整

通常シール圧力の調整はしてありますので、そのまま使用してください。
厚手のフィルムなどシール圧力が不十分で、どうしてもシールできない場合にシール圧力の調整を行ってください。




**調整方法**

圧力調整スリーブを右イラストの矢印の方向へ回すと、圧力が強くなります。

⚠ 注意　本体の左右に付いている圧力調整スリーブをバランスよく回さないと、シールが均一にできなくなりますので注意して行ってください。